

発行所 鹿児島市秘书課  
編集発行人 大西哲夫  
印刷所 南日本新聞社印刷局

# かごしま 市政だより



(10月12日下竜尾町での昼火事—南日本新聞社提供)

## 秋の火災予防週間

### 消防大演習など多彩な催し

消防署では、この週間に

防火に対する認識を高めてい

ただくため、いろんな行事を

計画していますが、週間行事

はつぎのとおりです。

▼十一月二十六日(金)

訓練火災警報発令(午前7時30分に市役所ほか六ヶ所のサイレンがなりますので

火事と間違えないように)

消防車の市中パレード

南中学校の少年消防クラブ

(BFC)一日消防署員

▼十一月二十七日(土)

消防大診断

家庭防火診断

▼十一月二十八日(日)

訓練火災警報発令(午前7時30分に市役所ほか六ヶ所のサイレンがなりますので

火事と間違えないように)

消防車の市中パレード

南中学校の少年消防クラブ

(BFC)一日消防署員

▼十一月二十九日(月)

避難救護訓練

危険物施設の管理状況調査

▼十一月三十日(火)

消防大演習

各事業所の防火訓練

## 鹿児島市の人口(概数)

10月1日に行なわれた国勢調査の概数がまとまりました。  
世帯数 93,452世帯  
人口 328,444人  
(男女)  
155,247人  
173,197人

## 火遊びをしてない約束ママとボク

十一月二十六日から十二月二日まで、秋の火災予防週間が行なわれます。ことしの火災予防運動は、○家庭の消防計画の推進○事業所等における消防計画の再検討と実施の強化○事業所の自衛消防組織の促進○消防危険区域における防火および警防対策の強化などを重点目標に、全国いっせいに実施することになりました。ことしは、郡元町新川や東桜島町の大炎など、例年には多くの損害を出していまます。昨年は、リ災者五〇世帯の二〇六人、損害見積額約七千四百万円だったものが、ことしは十月末現在で、リ災者四五〇世帯の一、六〇三人、損害見積額約二億一千万円と大幅に上回っています。そこで消防署では、これから年末年始にかけて火災の多く発生する季節となりますので、みなさん方の火災予防についての認識を高め、火災をなくするために、週間中はいろんな行事を計画しています。

十月末現在で二〇三件の火災が発生していますが、その原因を調べてみると、タバコとコンロの不始末による出

火がそれぞれ二三件で一番多く、そのつぎが煙突の不良によるもの一五件、たき火一四件、子どもの火遊び十三件と続いています。

出火の大半が一般家庭で発生していますので、各ご家庭では、つぎの事項をよく守り火災を出さないように十分注意しましょう。

### 危険行為の防止

○石油ストーブ、石油コンロ、ガスストーブなどの火災は、取扱いの不注意によるものがほとんどですから説明書や資料をよく読んで、家族全員が取扱いによくなれることが大切です。

○火がついたままで給油したり、持ち運ぶと危険です。子どもだけでたき火をしはつぎのとおりです。

### 火元の確認

○電気器具を使用したあとは、必ずコンセントをはずす習慣をつけましょう。

### 火災のときの避難訓練

○外出するときや、寝る前に、十分に火元を確かめなくてください。

消防署では、11月27日・28日の2日間、照国神社境内で消防ペーパージェントを催します。もりたくさんのプログラムですが、子どもさんは社会科の勉強に、おとなはノミの市で、また家族そろって演芸会をと、楽しみながら火災予防の知識を身につけることができます。入場料は無料で、ご来場の方には粗品を差しあげます。

- 消火器具・燃焼器具・消火建築材の展示会
- 電気相談所開設
- 防火ポスター展(児童画、諸外国ポスター)
- 演芸会(消防音楽隊、その他)
- 慈善バザー(ノミの市)
- 訓練塔による救助訓練(ハシゴ車実演)
- 各種消化実験(化学車による化学消火)

11月27日~28日 照国神社境内

## 消防ペーパージェント







